

# 研究 Report



No. 4 令和4年11月 池袋本町小学校

今年度の研究主題“自分らしい生き方を求める児童の育成－「考え、議論する道德」の授業づくりを通して－”を踏まえ、5年生では「よりよい学校生活、集団生活の充実」について考える授業を行いました。教科書に載っている「ケンタの役割」という教材をもとに、「集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めるための判断力」をねらいとした授業を行いました。2つの役割を同時に果たさなければならず悩むケンタの姿を通して、自分の行動を決断するときに必要なことについて考えました。

今回の研究 Report では、第4回目の5年3組の石川学級の研究授業の様子をお知らせします。

- 1 講師 千代田区教育委員会 主任指導主事 田中博先生
- 2 主題名 「集団の中での役割」(C よりよい学校生活、集団生活の充実)
- 3 教材名 「ケンタの役割」
- 4 授業内容



## 【本時の目標】

2つの役割を同時に果たさなければならず悩むケンタの姿を通して、自分の行動を決断するときに必要なことについて考えさせ、集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めるための道徳的判断力を育てる。

## 【主な学習活動】

### 導入

授業のねらいや教材につながる写真(委員会、クラブ、移動教室、運動会等)を提示し、日常の経験を共有して自分事として考えたい環境をつくりました。



### 展開前段

リレーの練習に行くか、図書委員会のポスターを作るか迷うケンタになりきって、どちらを選んだのか「心情メーター」を使って表しました。また、なぜその選択をしたのか、考えを明らかにすることで、本時のねらいに即して考えることができました。

話し合いの前後に「心情メーター」を扱うことで、考えの変容を可視化し、その理由を聞くことで考えの深まりを捉えました。

### 展開後段

「ぼくは、しようと思う。どうしてかという、。」というケンタの台詞に続いて、教材の登場人物(ミキ:ポスター作り、タクヤ:リレーの練習)になりきって3人組で対話をしました。

それぞれ立場の違う3人になりきり、話し合いの視点をもたせることで、自分とは違った多面的・多角的な考えをより理解しやすくなるようにしました。



### 終末

『集団における自分の役割を果たすとき、どんな思いや考えが大切か』という問いに対して、

- ・自分の役割に責任をもつことが大切。
  - ・自分だけでなく、相手や周りの人のことを考えて行動することが大切。
- という意見が出ました。

